
娘の疑問とパパの苦悩。

O.L.

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

娘の疑問とパパの苦悩。

【著者名】

ZZマーク

【作者名】
○・」・

【あらすじ】

娘の素朴な疑問と、それに翻弄される(?)パパの会話。小説ではなく、小話みたいな感じです。

「またガソリンが値上がりしてゐる。小遣いが厳しくなるな」

「パパのお小遣いとガソリンと、何の関係があるの？」

「ママが『ガソリン代は自分の小遣いから出せ』って言つんだ。だからパパが好きなモノを買うお金が少なくなつたやつなんだよ」

「じゃあ私のお小遣い、ちょっと分けてあげる」

「十円玉か……。ありがと、嬉しいよ」

「でも、ガソリン屋さんも可哀想だから。ちょっとだけお小遣い分けてあげようかな」

「何でスタンンドの店員が可哀想なんだ？」

「パパが売つてるお車は、百万円くらこするんでしょ」

「ああ、パパが売つてる車は何百万円もするんだ」

「つてことは、パパは一人のお客さんから百万円ももらえるんでしょ？」

「いや、パパが百万円もらえるワケじゃないんだよ。もらえるのは、その中のほんの少しなんだ」

「ホント！？　じゃあガソリン屋さんはもつと可哀想だ」

「どうして？」

「だって、あの看板に『140えん』って書いてあるでしょ。一人のお客さんに売つても百四十円しかもらえないのに、それより少ないお金しかもらえないなんて。私のお小遣いより少ないよ」

「……あれは違うんだ。払つお金が一人百四十円だったら、スタンドが潰れちゃうよ」

「じゃあガソリン屋さんは、百四十円よりも多くお金がもひるぐの？」「ちうだよ。あれは『一リットルあたりの値段』とこいつなので、本当に払つね金はもつと多いんだ」

「じゃああの看板は嘘つきだ！ 百四十円つて言つてるくせに、もつと高いお金をパパのお小遣いから取るつもつなんだー！」

「いや、ちうこいつじやないんだよ」

「早くお巡りさんに戻つたことー！」

「ダメだー！ お巡りさんにそんな」と叫びたま

「パパは優しくないよー。」

「じゃあちうこいつにして、ママに『パパは優しい』と褒めてくれ。そしたらパパのお小遣いが増えるかもしれないからな」

「それはダメだよ。だってパパ、ガソリン屋さんが悪いことしてる

のこ、知らないフリするんだもん

「 はあ。子供って難しいな」

(了)

(後書き)

サークルでの初投稿作品だというのに、いきなり暴走してしまった感が……。意味不明だつたらごめんなさい。もしかしたら今後「会話シリーズ」的なモノを作るかもしれません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8366y/>

娘の疑問とパパの苦悩。

2011年11月24日23時16分発行